

# 令和4年度 事業報告

## I 全体概要

老人クラブでは、「健康・友愛・奉仕」という3本の旗印のもと、「健康づくり・介護予防活動」、「友愛活動」、「子どもの見守り」、「消費者被害防止」の活動などを行い、地域の安全と安心に貢献してきました。

しかし、平成9年度をピークに会員数が減少に転じ、令和4年度にはピーク時の半数に満たない状況となり、老人クラブを牽引する役員のなり手不足や活動の中核となる若手会員の不足が深刻化しています。

さらには、令和2年から世界的に蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度と同様、事業の延期や中止など縮小を強いられました。

このように厳しい状況にありながらも、感染状況が落ち着いた時期を見計らい、新しい生活様式を基本にして、魅力ある老人クラブ活動づくり、会員増強に引き続き取り組むとともに、行政や社協を始め関係団体と連携し、フレイル予防、健康長寿の延伸と地域における支え合い活動を広げ、地域の安全・安心づくりに取り組みました。

以下、その概要について報告します。

## II 公益事業

### 1 健康づくり・介護予防活動の推進（公1）

#### （1）高齢者の体力測定普及活動の推進

高齢者が自らの体力を知り、自分にあった適切な運動を生活の中に取り入れていくことで自立できる体力の維持に役立てるために、選定した市町村老連等で体力測定会を実施することにしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて実施先を選定することができませんでした。

#### （2）ニュースポーツ等支援事業の推進

・ニュースポーツ及び健康ウォーキングの正しい理解のために、実技研修会を開催しました。

なお、選定した市町村老連等に講習会・実技研修に取り組んでもらい、県内各地での事業展開を進めることにしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて実施先を選定することが出来ませんでした。

## 【健康ウォーキング・ニュースポーツ研修会】

|        |  |
|--------|--|
| 10月27日 | 熊本県立総合体育館（中体育室）<br>○「ニュースポーツ（公式ワナゲ）」、「ノルディック・ウォーキング」についての実技講習等 |
|--------|--|

※（１）及び（２）で実施できなかった事業の代替として、研修会・会議等で参加者に配付し健康づくり活動の啓発を図るためのオリジナルタオルを作成しました。

### （３）健康づくり指導者育成事業

#### ① 健康・生きがいづくり支援事業推進委員会

医師、歯科医師、栄養士、健康運動指導士、行政等の外部委員を中心とした6名の委員による推進委員会を2回開催し、県老連が行う健康・生きがいづくりの取組について協議を行いました。

|           |                                       |
|-----------|---------------------------------------|
| 6月7日      | 年間の事業計画及び取組について協議                     |
| 令和5年2月14日 | 事業実施結果をもとに意見交換を行うとともに、次年度事業計画への反映等を協議 |

#### ② 健康づくりブロック別研修会

こころとからだの健康づくり活動の普及・拡大を図るため、専門的な立場（歯科医師、大学講師、薬剤師、健康運動指導士）からの講演と、健康づくりに取り組んでいる市町村老連や単老からの実践報告を行う研修会を県下2ブロックでの開催を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止しました。

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 7月11日 | 中央ブロック：宇土・宇城地区（中止） |
|       | 県南ブロック：水俣・葦北地区（中止） |

#### ③ 健康づくりリーダー等研修会

高齢者の健康で生きがいのある生活の実現をめざして、市町村老連等で心と体の健康づくり活動に取り組んでいる「健康づくりリーダー等」を対象とした研修会を開催しました。

|       |   |
|-------|---|
| 12月6日 | K K R ホテル熊本 2階「五峯・城彩」<br>○「高齢者の健康づくりと食生活について」<br>○「運動の毒・運動の薬」 |
|-------|---|

## 2 地域支え合い活動の推進（公2）

### （１）在宅福祉を支える友愛活動の推進

元気な高齢者が地域の一人暮らしや寝たきりの高齢者等の家庭を訪問し、話し

相手や簡単な生活支援等の活動を実践するシルバーヘルパー及び2年の実務経験者を対象にしたシルバーヘルパー指導者の養成講習会を開催しました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、日程の変更または中止せざるを得ないものもありましたが、実施できる期間を見極め、感染対策を行いながら実施しました。

【令和4年度 シルバーヘルパー養成講習会】

|        | 養成講習会   | 指導者養成講習会 |
|--------|---------|----------|
| 受講者数   | 478人    | 142人     |
| 延べ受講者数 | 48,067人 | 5,549人   |

(2) 地域の安全・安心の取組と社会奉仕の日の取組（地域支え合い活動に関する県老連から市町村老連への取組の呼びかけ）

① 地域の子ども見守り活動

県内各地で取り組まれている登下校時の見守りパトロールに継続して取り組みました。

② 防犯・消費者被害・振り込め詐欺の被害防止活動等

電話でお金詐欺に代表される高齢者を狙った悪質業者の被害に遭わないように、行政（消費生活センター等）や警察との情報共有とともに、県老連ホームページによる注意喚起に取り組みました。

③ 災害等緊急時の対応

高齢者や社会的弱者への災害緊急時の連絡や避難体制について、自治会や町内会といった団体との連携に努めました。

④ 社会奉仕の日の取組

「老人の日・老人週間（9月15日～9月21日）」の期間中、特に9月20日の老人クラブ全国一斉「社会奉仕の日」に、環境美化活動等に取り組みました。

3 活動活性化に向けた取組（公3）

(1) 広報活動

① 広報委員会を4月と10月に開催し、「県老連だより」を7月と1月に刊行しました。

・ なお、4月の広報委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、書面での意見聴取にしました。

② 元気老人クラブ活動広報推進事業

活発・先進的なクラブ活動を行っている老人クラブの事例紹介と外部講師による今後の老人クラブ活動の方向性に係る研修会を県の補助を受け開催しており、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、3年ぶりに開催しました。

|      |   |
|------|---|
| 9月2日 | K K R ホテル熊本 2階「五峯・城彩」<br>○事例発表<br>①私達 老人クラブが担う 地域支援活動<br>菊池市老人クラブ連合会<br>②eスポーツで脳と心が“ちむどんどん”!!<br>宇土市老人クラブ連合会<br>○講演<br>「電話で『お金』詐欺」の現状<br>熊本県警察本部 生活安全企画課<br>○参加者：29市町村老連から84人 |
|------|---|

(2) 単位老人クラブ調査事業

単位老人クラブの組織実態について調査し、地域活動の基礎資料となる「老人クラブ名簿」を180部作成し、各市町村老連及び支部並びに指定旅館に配布しました。

(3) 老人クラブ大会及び各種表彰の実施

- ① 第38回熊本県老人クラブ大会を開催し、式典の中で、老人クラブの育成発展に功績のあった個人及び団体を表彰しました。
- ② 老人週間において95歳になった老人クラブ会員に寿詞贈呈を行いました。

(4) 老人クラブリーダーの育成等

① 単位老人クラブ新任会長及び女性リーダー研修会

各市・郡老連が開催する新任の単位老人クラブ会長や女性リーダーを対象とした研修会で、老人クラブの基礎的な活動や組織の在り方について講話等を行っています。多くの市町村では、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、マスク着用や消毒など感染防止に留意しながら研修が開催されました。

なお、希望のあった老連には、資料を送付しました。

|          |                |
|----------|----------------|
| 研修開催市町村数 | 37市町村（1カ所独自開催） |
| 参加者数     | 計588人          |

(5) 行政や団体との連携強化の推進（活動活性化に関する県老連から市町村老連への取組の呼びかけ）

① 市町村行政と定期的な協議の機会設定

各市町村老連において、市町村行政との「定期的な協議の場」を設けるとともに、老人クラブ活動予算の協議や高齢者福祉行政と老人クラブ活動の調整を図るための「要望書」を作成し、行政との連携に取り組みました。

② 地域ネットワークへの積極的な参加

地域の中で安心・安全に暮らしていくために、市町村社協や自治会をはじめ地域にあるネットワークと連携を取りながら活動に参加するよう呼びかけました。

#### 4 被災者支援及び復興活動の推進（公4）

##### (1) 被災者支援及び震災復興関連事業

第38回熊本県老人クラブ大会において、熊本地震や豪雨災害の被災地の復興を祈念する特別プログラムとして、歌う防災士“しほママ”こと 柳原 志保 氏を招いた「防災講演会」を行い、防災意識の高揚を図りました。

### Ⅲ 収益事業

#### 1 指定旅館・ホテル等及び図書斡旋（収1）

##### (1) 指定旅館・ホテル等収入

会員の研修や旅行等福利厚生に資するため、県老連指定旅館制度を設け、安心して活用できる場（旅館・ホテル等）を提供する趣旨で実施しており、令和4年度は、旅館・ホテル等からの申し出を受け、県内外合わせて14施設を指定しました。

また、「指定旅館のご案内」を作成して各単老に配付し、老人クラブ名簿や年2回発行の県老連だよりに掲載して会員への周知を図りました。

##### (2) 図書斡旋収入

「老人クラブ活動日誌」や「老人クラブ会計簿」などを会員に斡旋し、その活用により老人クラブ活動の円滑な運営を図りました。

#### 2 保険広告（収2）

##### (1) 保険広告料収入

全老連が実施する傷害保険・賠償責任保険について、機関紙である「県老連だより」をはじめ、研修会・講習会等資料に広告を掲載して宣伝を行い、広告料収入を得ました。

#### 3 共益（他1）

##### (1) 郡・市町村老連事務担当者研修会（6月）

市町村老連・支部等の事務局長及び事務担当者を対象に、老人クラブに関する制度の説明や先駆的な活動に取り組む市町村老連の事例発表等を行い、老人クラブ活動の活性化を図りました。